

令和4年度大学入学者選抜実態調査について

調査の目的・内容

- 令和3年7月に取りまとめられた「大学入試のあり方に関する検討会議 提言」において、実証的なデータやエビデンスに基づく政策決定の重要性が指摘されており、大学入学者選抜の多様化・複雑化が進む中で、国としての確な現状分析に基づいて検討を行うためにも、国内の全大学・短期大学が現在実施している入学者選抜の状況について、最新の動向を網羅的に把握する必要がある。
- 各大学が実施する大学入学者選抜について、選抜区分ごとに詳細を把握し、設置主体別等の分析を行う。
- 既に実施した大学入学者選抜の選抜区分基本情報、大学入学共通テストの利用状況、個別学力検査の実施状況、英語資格・検定試験の活用状況、記述式問題等の出題状況等を調査。

調査の実施時期・方法

- 令和4年7月14日～令和4年8月31日の期間に各大学に回答を依頼・回収。
- eメールによる調査票の発送及び民間委託業者による回答票の回収・集計により実施。
(遅れて回答のあった大学等も含め、令和4年11月29日までの回収分を集計)

調査の対象

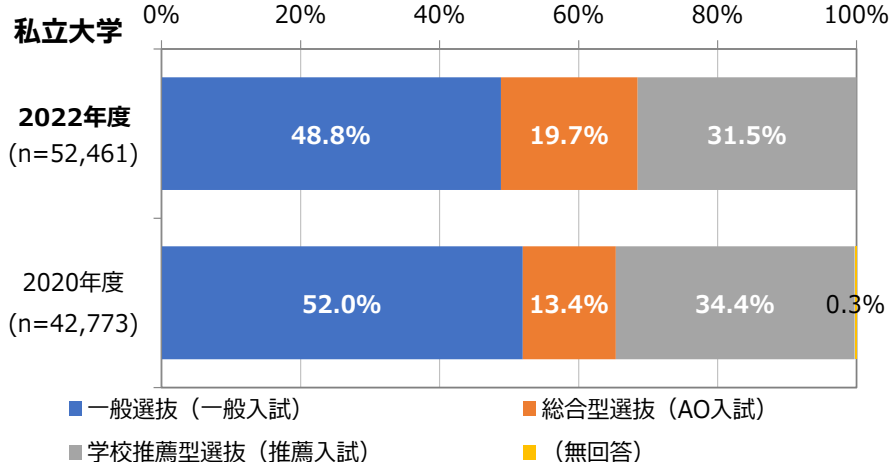
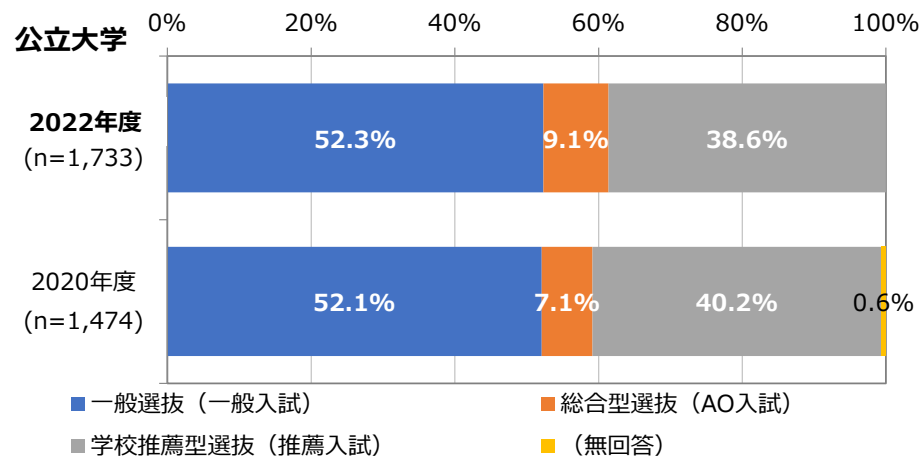
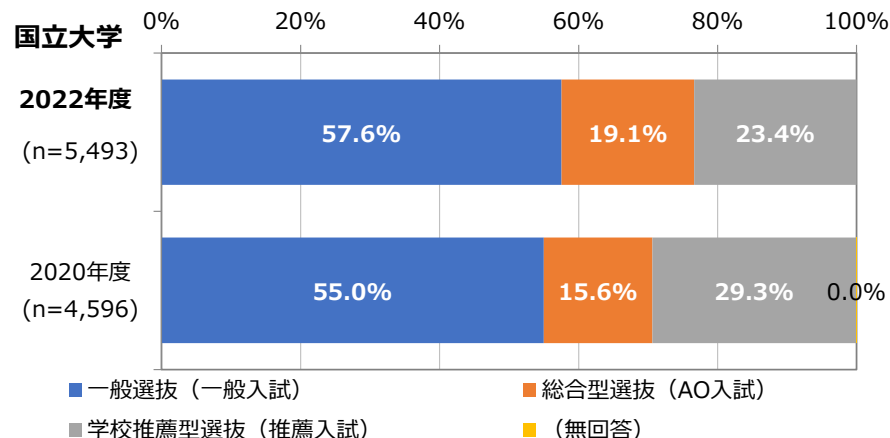
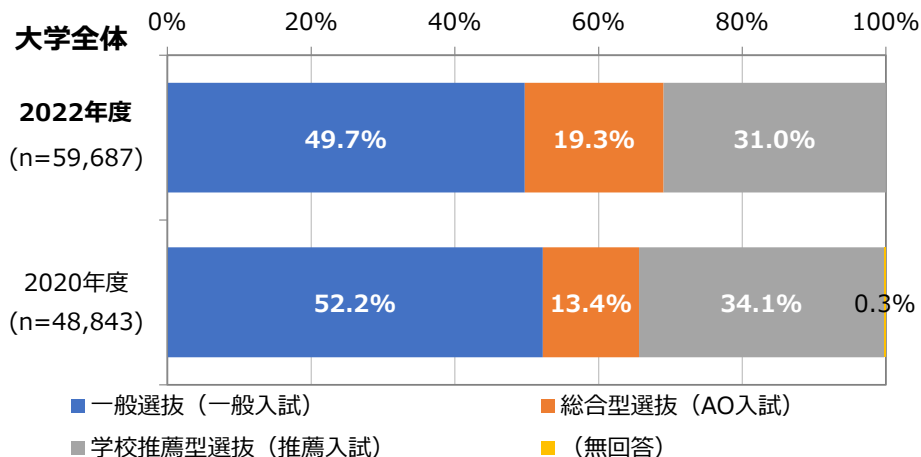
- 国内の全大学及び短期大学（大学院大学と学生募集停止の大学・短期大学を除いた、国立大学・公立大学・私立大学・公立短期大学・私立短期大学の計1,071校）
- 回収数：1,071校（76,113選抜区分）、回収率：100%

令和4年度大学入学者選抜実態調査の主な調査結果について

令和4年度大学入学者選抜実態調査の主な調査結果については、以下のとおり。

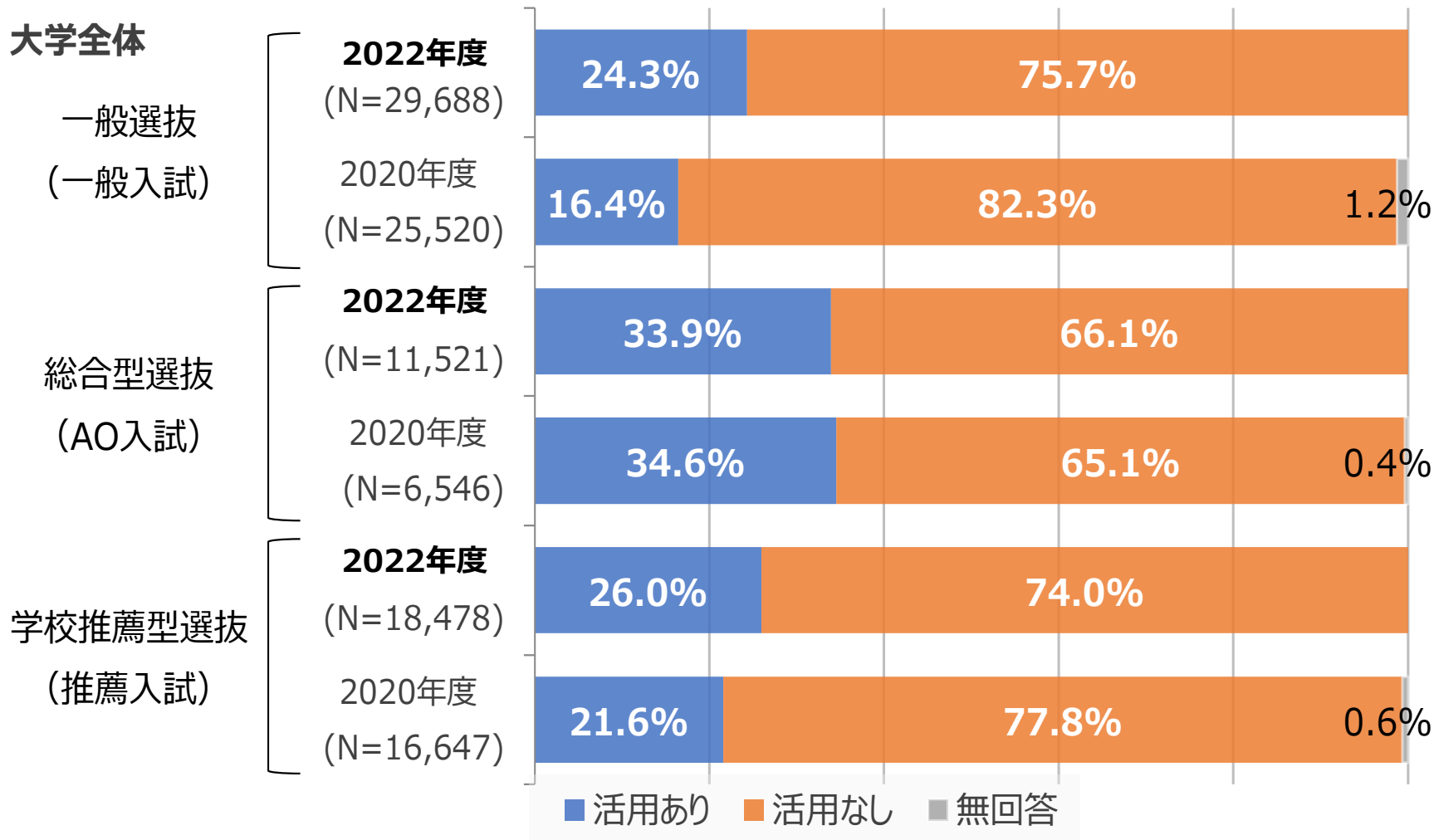
● 選抜方法

- 一般選抜、総合型選抜及び学校推薦型選抜の3つにおいて、総合型選抜（AO入試）の割合が増加。
（国公立別でも同様の傾向）



● 英語資格・検定試験の活用

○ 英語の資格・検定試験の活用がある選抜区分の割合は、一般選抜及び学校推薦型選抜で増加。
(総合型選抜はほぼ横ばい)



※nは、国立大学・公立大学・私立大学において一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を実施する選抜区分数

● 個別学力検査における客観式問題・記述式問題の出題状況

- 一般選抜における個別学力検査において、記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）を解いたと推定される選抜区分に係る入学者数は、国立大学で98.0%、公立大学93.9%、私立大学55.6%。

	入学者数	記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）	
		出題あり	出題なし
国立大学 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	69,128	67,779 (98.0%)	1,349 (2.0%)
公立大学 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	16,684	15,659 (93.9%)	1,025 (6.1%)
私立大学 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	164,167	91,299 (55.6%)	72,868 (44.4%)
大学全体 （一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合）	249,979	174,737 (69.9%)	75,242 (30.1%)

※2020年度は同条件の調査をしていないため、比較できない。

その他の主な調査結果については、以下のとおり。

【試験問題の公表】

- 個別学力検査における試験問題の公表状況について、約 9 割（国立大学（93.9%）、公立大学（89.5%）、私立大学（93.2%））が全て又は一部を公表。

【大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」）の利用の実態】

- 一般選抜において共通テストを利用して合否判定する選抜区分は、国立大学94.8%、公立大学で96.8%、私立大学では45.6%。
- 共通テストを利用して合否判定する場合、一般選抜においては、国立大学では 7 科目の利用、公立大学では 7・4・5 科目の利用、私立大学では 2・3 科目の利用が多い。

【個別選抜の実態】

- 共通テストを利用していると回答した選抜区分のうち、更に、個別学力検査（※）を実施しているのは、一般選抜が 66.8%、総合型選抜が3.8%、学校推薦型選抜が3.6%。
- 一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 83.3%）、数学（同 74.0%）、国語（同 66.3%）を出題する選抜区分が多い。

【学校推薦型選抜の実態】

- 学校推薦型選抜の種類を入学者数別でみると、公募型が国立大学では98.6%、公立大学では85.8%、私立大学では22.1%。

【記述式問題等の出題の実態】

- 一般選抜における個別学力検査において、記述式問題を出題している選抜区分の割合は、国立大学では全体の 99.9%、公立大学では 99.9%、私立大学では 40.2%である。

※ 本調査における「個別学力検査」は、学習指導要領に定められている教科・科目の学力検査、「総合問題」としている。「小論文」、「面接」、「討論」及び「実技検査」等は含まない。